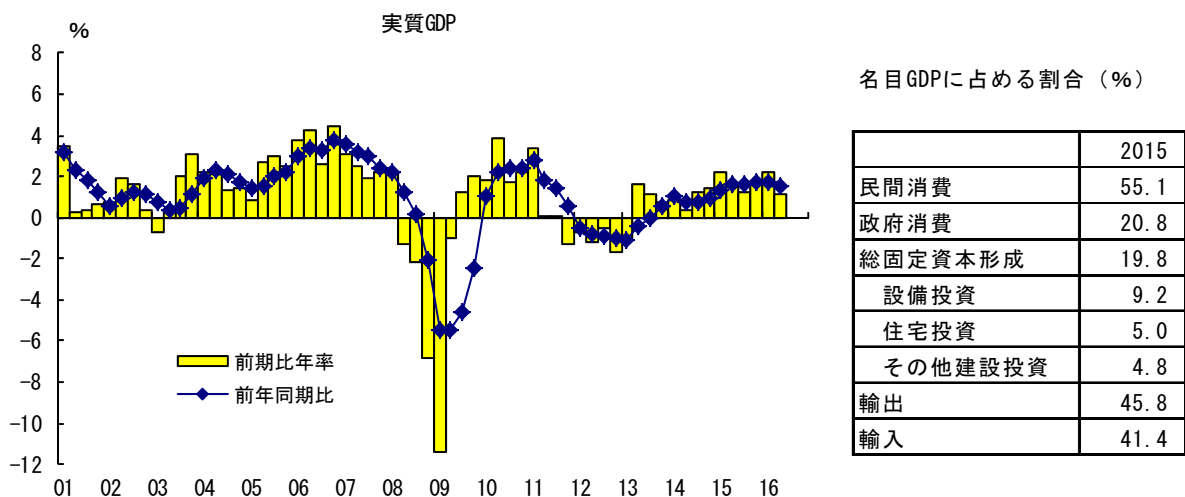


ユーロ圏 GDP

- 16年Q2の成長率は前期比+0.3%と16年Q1の同+0.6%からは減速
- ただし、13年Q2以降13四半期連続のプラス成長となっている
- 16年Q2の需要項目別の内訳は9月6日に発表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	-0.3	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6	0.4	0.3	0.4	0.6	0.3
個人消費	-0.3	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2	0.4	0.6	0.4	0.3	0.5	0.3	0.6	-
政府消費	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.5	0.3	0.3	0.5	0.4	-
総固定資本形成	-2.0	0.8	0.9	0.3	0.4	-0.4	0.5	0.5	1.5	0.1	0.5	1.4	0.8	-
設備投資	-1.4	1.0	1.3	1.4	0.1	0.5	1.1	0.7	1.8	1.1	0.8	1.6	0.9	-
住宅投資	-2.3	0.6	0.3	-0.9	0.9	-1.6	0.0	0.2	1.1	-0.5	0.4	1.1	0.8	-
その他建設投資	-2.7	0.6	0.9	-0.5	0.4	-1.1	-0.3	0.2	1.4	-1.4	0.0	1.5	0.6	-
輸出	0.3	1.2	0.5	1.1	0.8	1.0	1.6	1.2	1.5	1.6	0.4	0.7	0.4	-
輸入	0.1	1.1	1.3	0.6	1.1	1.1	1.5	1.1	2.3	0.9	1.3	1.4	0.7	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

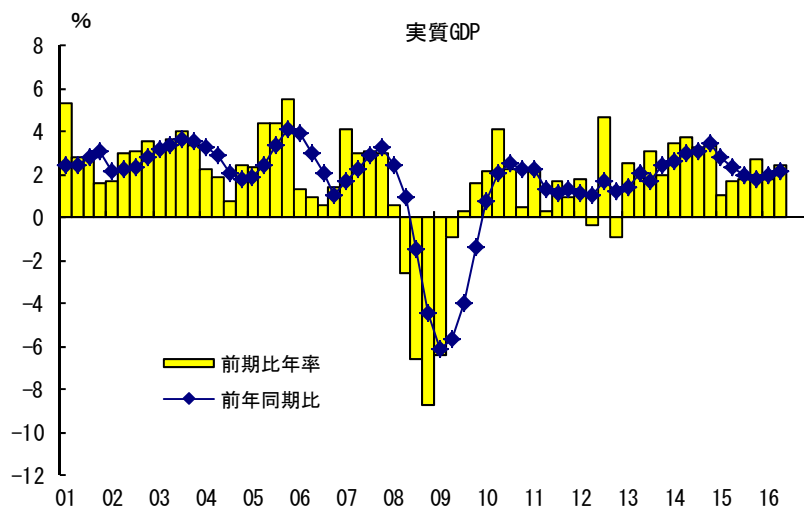
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	-0.28	0.40	0.28	0.18	0.21	0.10	0.30	0.37	0.55	0.38	0.32	0.42	0.55	0.28
個人消費	-0.15	0.12	0.14	0.10	0.00	0.11	0.24	0.31	0.22	0.18	0.29	0.17	0.30	-
政府消費	0.02	0.01	0.04	0.04	0.05	0.04	0.07	0.03	0.11	0.06	0.07	0.10	0.08	-
総固定資本形成	-0.39	0.16	0.18	0.06	0.08	-0.08	0.09	0.09	0.30	0.01	0.10	0.29	0.17	-
設備投資	-0.14	0.10	0.12	0.13	0.01	0.05	0.11	0.07	0.18	0.11	0.08	0.16	0.10	-
住宅投資	-0.12	0.03	0.02	-0.04	0.04	-0.08	0.00	0.01	0.06	-0.02	0.02	0.05	0.04	-
その他建設投資	-0.14	0.03	0.04	-0.03	0.02	-0.05	-0.02	0.01	0.07	-0.07	0.00	0.07	0.03	-
在庫変動	0.18	0.02	0.22	-0.24	0.17	0.07	-0.20	-0.13	0.17	-0.25	0.22	0.14	0.10	-
輸出	0.11	0.52	0.23	0.46	0.36	0.44	0.73	0.53	0.70	0.73	0.18	0.31	0.20	-
輸入	-0.04	-0.42	-0.51	-0.24	-0.44	-0.46	-0.62	-0.47	-0.93	-0.36	-0.53	-0.59	-0.32	-
純輸出	0.08	0.10	-0.28	0.22	-0.09	-0.02	0.10	0.06	-0.24	0.37	-0.35	-0.28	-0.12	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 16年Q2の成長率は前期比+0.6%と16年Q1の同+0.4%から加速
- 鉱工業部門が同+2.1%と高成長を遂げた一方、サービス業部門は+0.5%にとどまった
- 16年Q2の需要項目別の内訳は8月26日に発表予定



名目GDPに占める割合（%）

	2015
民間消費	65.0
政府消費	19.3
総固定資本形成	16.9
政府部門	2.6
企業部門	9.6
民間住宅投資	3.3
輸出	27.3
輸入	29.4

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	0.6	0.5	0.8	0.5	0.8	0.9	0.8	0.8	0.3	0.4	0.4	0.7	0.4	0.6
個人消費	0.1	0.3	0.8	0.6	0.2	0.5	1.3	-0.2	0.8	0.8	0.6	0.6	0.8	-
政府消費	0.3	-0.4	0.2	0.8	1.5	0.2	0.2	-0.2	0.4	1.0	0.3	0.2	0.5	-
総固定資本形成	-2.5	1.7	3.4	2.6	2.8	-1.6	1.4	0.7	1.5	1.2	0.5	-1.0	-0.1	-
政府部門	-2.4	2.7	2.1	2.6	16.1	-20.5	9.1	-0.6	2.0	-2.0	-0.2	-1.8	-2.7	-
企業部門	-2.4	-0.1	3.5	1.8	-3.4	6.0	-1.3	1.9	2.1	0.5	1.6	-2.2	-0.6	-
民間住宅投資	0.7	6.4	2.4	2.8	10.9	-8.1	4.6	-0.9	1.6	4.9	-2.7	1.7	1.6	-
輸出	0.1	4.8	-2.6	-1.3	2.6	-0.3	-1.3	4.0	2.1	-0.3	-0.2	3.2	-0.4	-
輸入	-0.5	4.7	-0.1	1.7	-0.1	-1.3	1.1	2.8	3.8	-2.1	1.3	2.5	0.1	-

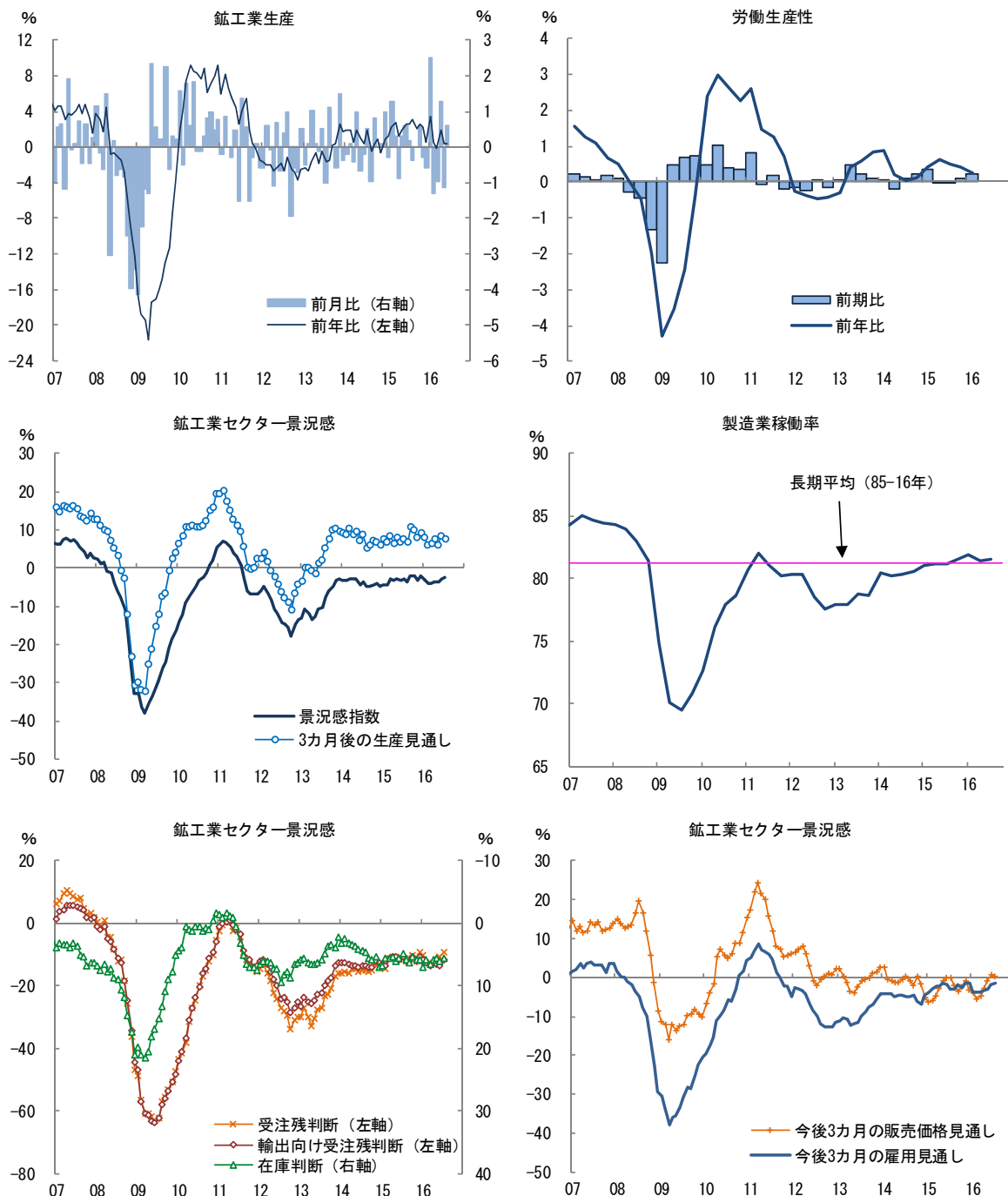
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2
実質GDP	0.63	0.52	0.76	0.49	0.85	0.93	0.81	0.83	0.26	0.42	0.44	0.68	0.45	0.60
個人消費	0.04	0.18	0.50	0.42	0.16	0.31	0.84	-0.10	0.52	0.51	0.42	0.37	0.50	-
政府消費	0.07	-0.08	0.04	0.15	0.30	0.04	0.05	-0.05	0.09	0.20	0.06	0.04	0.09	-
総固定資本形成	-0.40	0.27	0.55	0.43	0.46	-0.27	0.24	0.11	0.25	0.21	0.09	-0.16	-0.01	-
政府部門	-0.06	0.07	0.05	0.07	0.44	-0.64	0.22	-0.02	0.05	-0.05	-0.01	-0.05	-0.07	-
企業部門	-0.23	-0.01	0.32	0.17	-0.32	0.55	-0.12	0.18	0.20	0.05	0.15	-0.22	-0.06	-
民間住宅投資	0.02	0.18	0.07	0.09	0.34	-0.28	0.15	-0.03	0.05	0.16	-0.09	0.06	0.05	-
在庫変動	-0.34	0.54	0.19	0.24	-0.68	0.52	0.43	0.61	-0.12	-1.13	0.30	0.26	-0.23	-
輸出	0.02	1.42	-0.79	-0.39	0.75	-0.10	-0.39	1.13	0.63	-0.10	-0.05	0.94	-0.11	-
輸入	0.15	-1.45	0.03	-0.56	0.04	0.42	-0.36	-0.88	-1.22	0.69	-0.41	-0.81	-0.04	-
純輸出	0.17	-0.03	-0.76	-0.95	0.79	0.32	-0.75	0.26	-0.59	0.58	-0.46	0.13	-0.15	-

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比+0.6%と反発したが、5月の同-1.2%を相殺するには至らず、前年比では+0.4%と低空飛行が継続
- 鉱工業セクター景況感は3月から7月にかけてごく緩やかに改善している。7月は構成項目のうち生産見通しは若干悪化したが、受注残判断と在庫判断が改善した
- ユーロ圏の製造業稼働率はここ1年、85年以降の長期平均をわずかながら上回っている

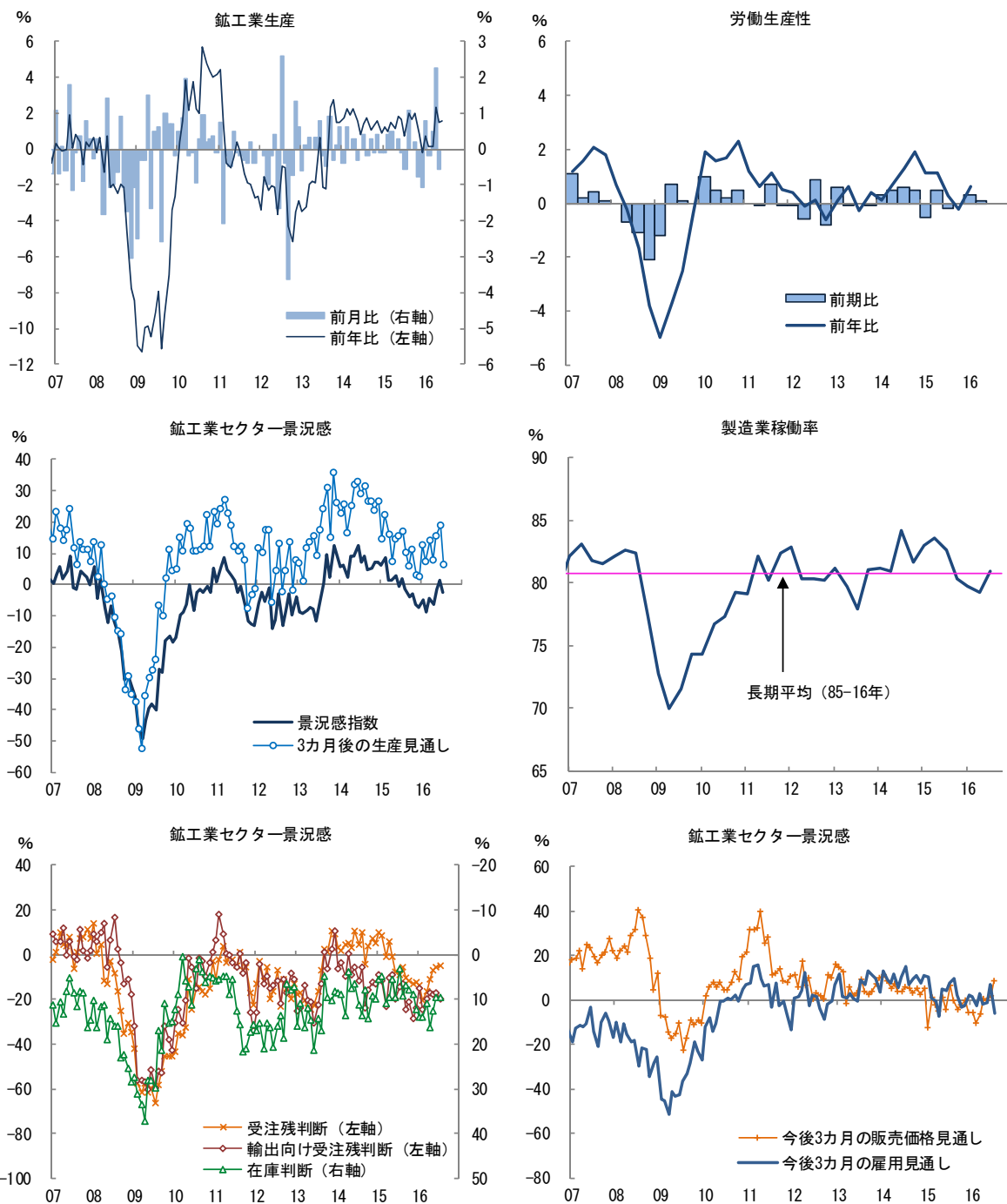


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比横ばいだが、前年比は+1.6%と堅調な伸びを維持
- 7月の鉱工業セクター景況感は生産見通しが大幅に悪化して3カ月ぶりに前月比で悪化
- 16年Q3の製造業稼働率は4四半期ぶりに85年以降の長期平均を上回った

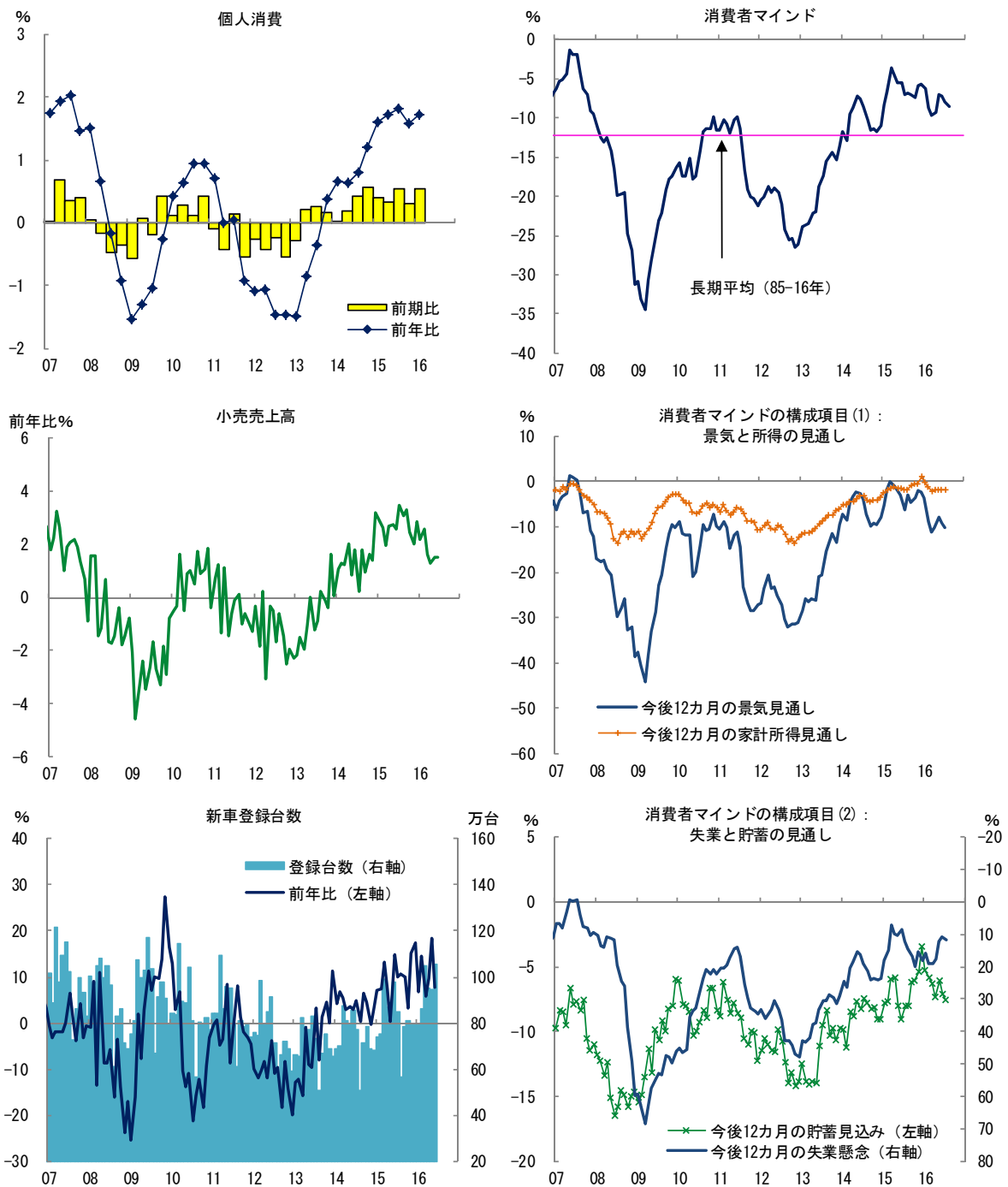


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 8月の消費者マインド（速報値）は-8.5%となって3カ月連続で小幅に悪化した。85年以降の長期平均は上回ったままである
- 消費者マインドの構成項目に注目すると、16年に入ってから景気見通しの悪化が目立つ
- 6月の小売売上高は5月と同水準の前年比+1.5%

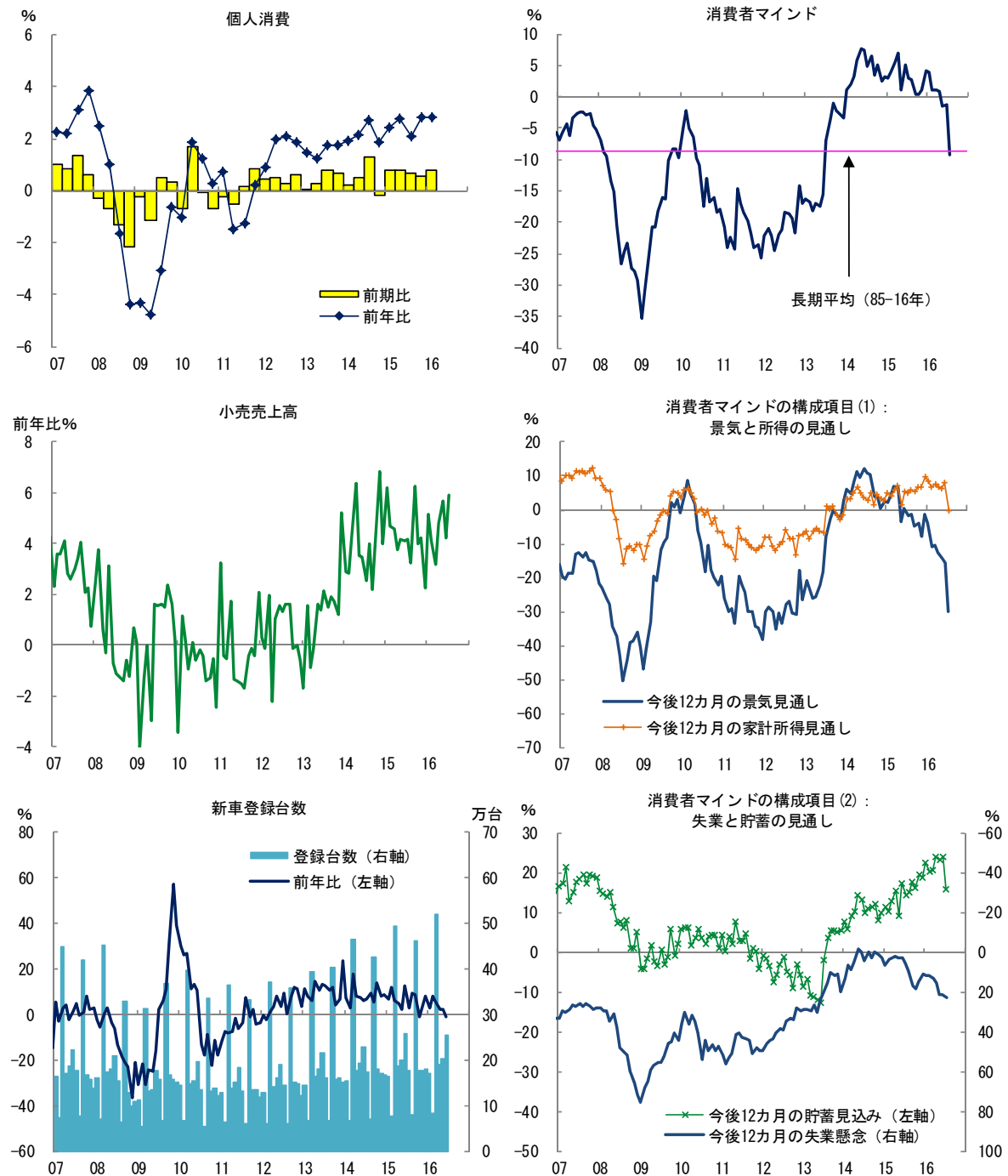


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 英国のEU離脱決定を受けて、7月の消費者マインドは6月の-1.2%から-9.2%へ急落し、37カ月ぶりに85年以降の長期平均を下回ってしまった
- 消費者マインドの構成項目では、7月は景気見通しが大幅に悪化したほか、家計所得見通しと貯蓄意欲も悪化している
- 一方、7月の小売売上高は前年比+5.9%となり、一段と加速した

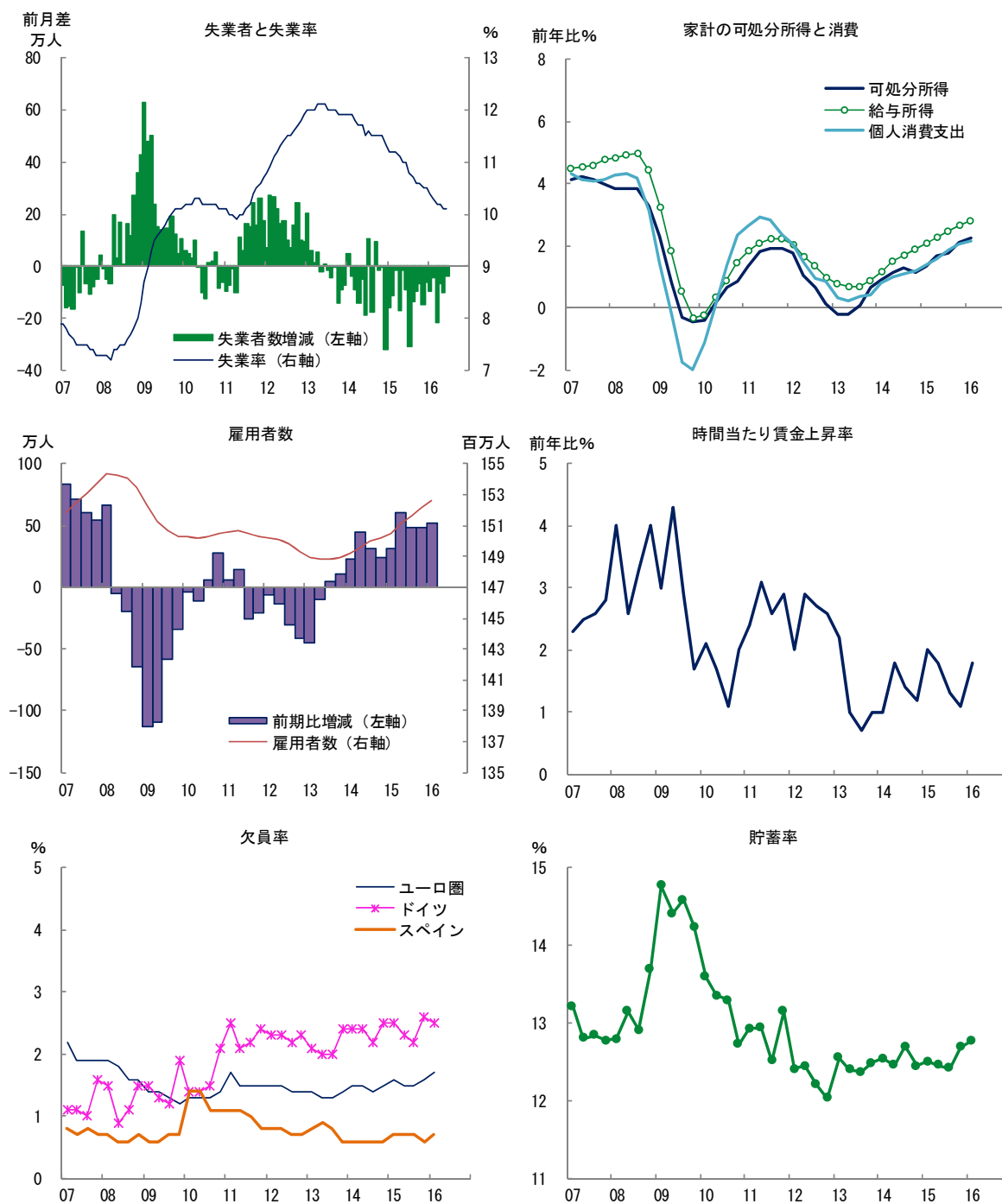


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 6月の失業率は10.1%で、11年7月以来の低水準となった5月と同水準
- 6月の失業者数は前月から3.7万人減となり、14年10月以来21カ月連続で減少
- 16年Q1の雇用者数は1億5,262万人と08年Q4以来の高水準となっているが、賃金上昇率は前年比+1%台にとどまっている

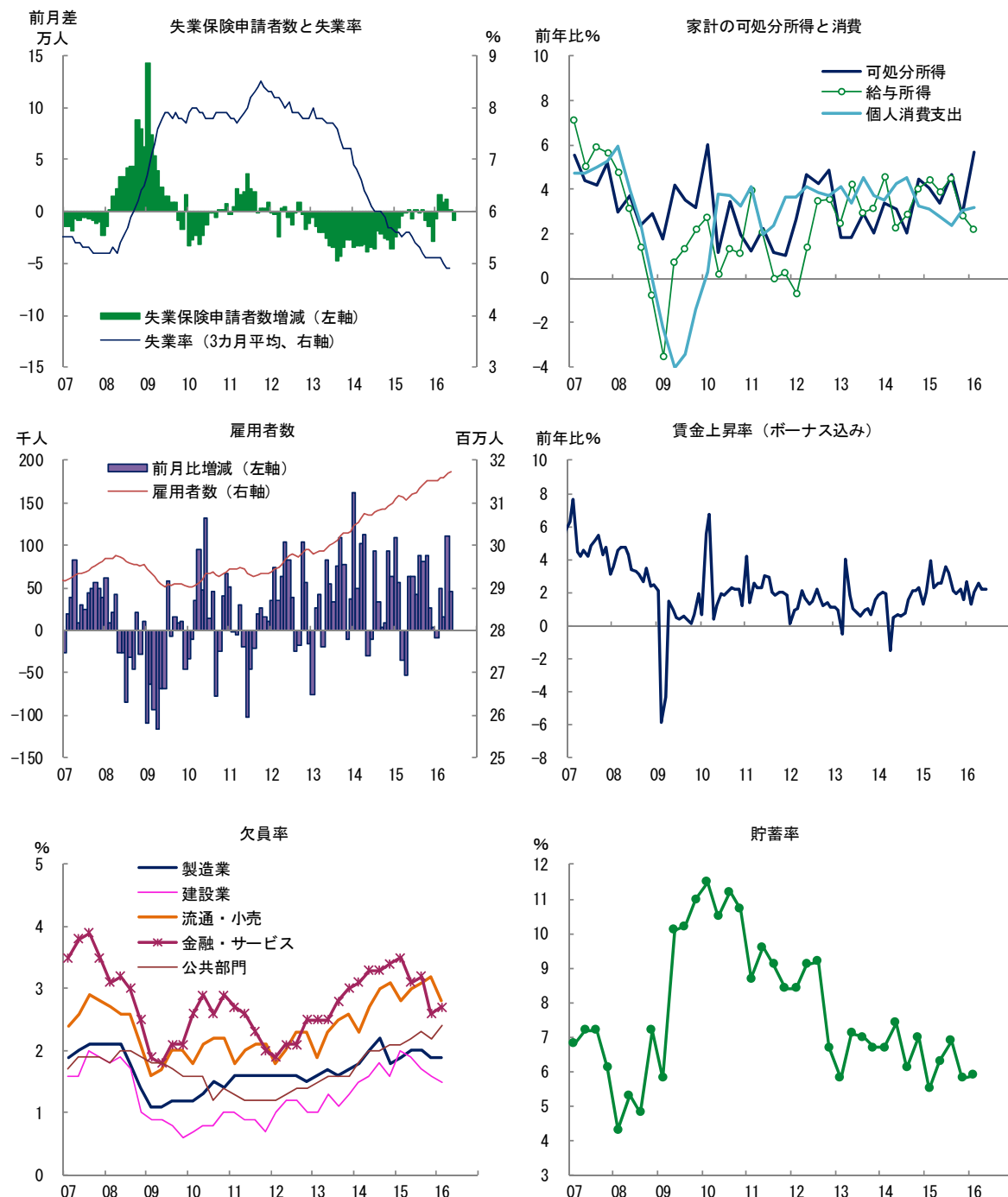


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 4-6月平均の失業率は4.9%で3-5月平均と同水準
- 7月の失業保険申請者数は前月から9,000人減となり、5カ月ぶりに減少した
- 4-6月平均の雇用者数は3,175万人となり、4カ月連続で増加している

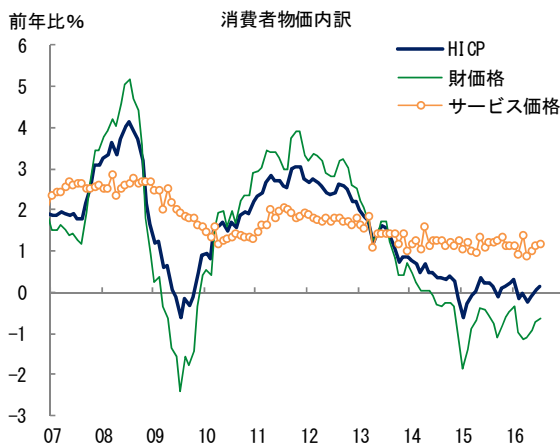
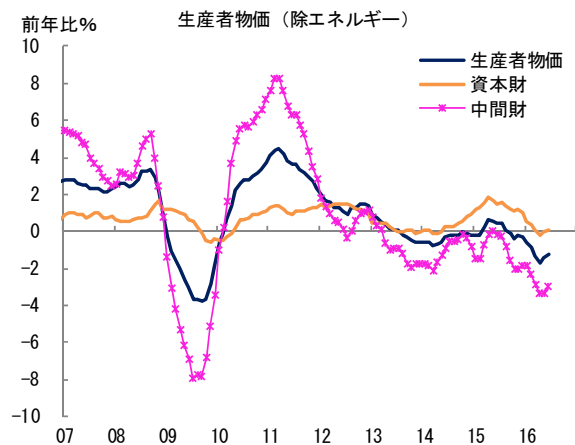
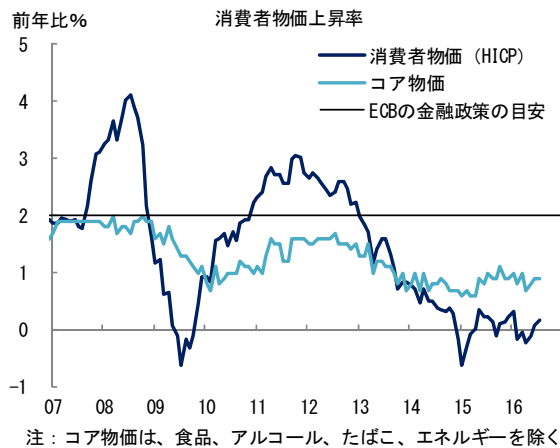


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

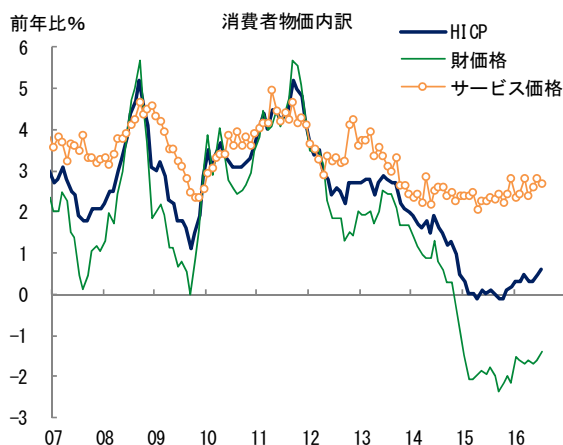
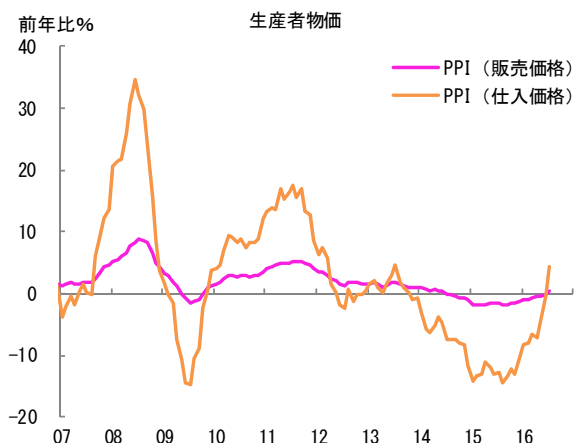
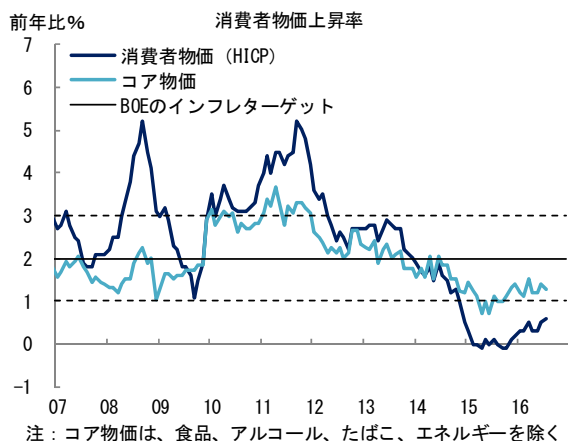
- 7月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.2%とごく小幅に加速
- サービス価格が前年比+1.2%とやや加速し、財価格は同-0.6%とマイナス幅が縮小した
- ただし、7月の原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり45.0ドルと半年ぶりに下落に転じ、ユーロ圏の物価上昇圧力は引き続き弱い



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

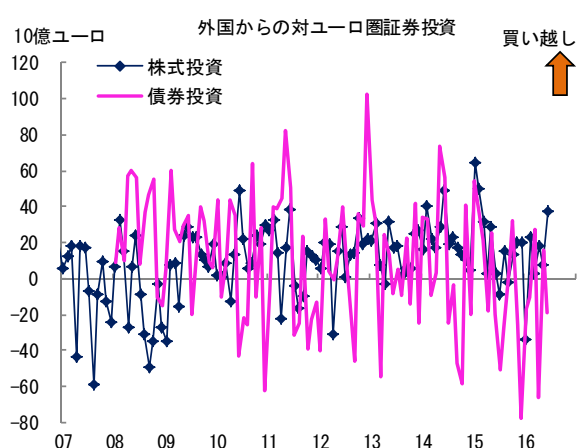
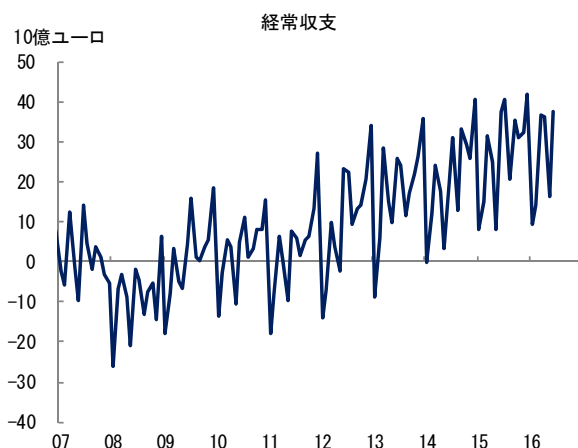
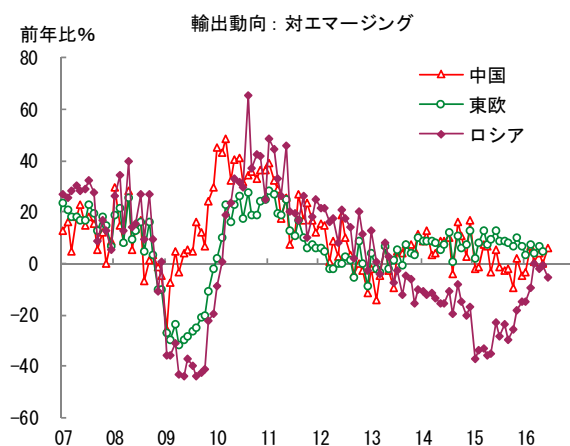
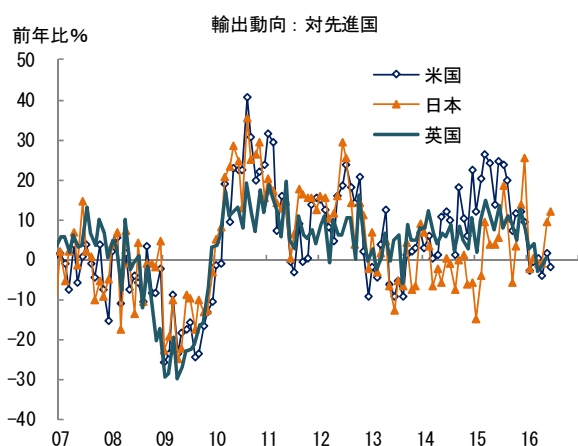
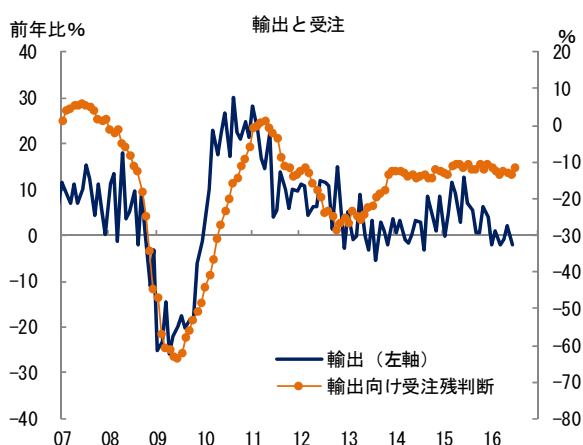
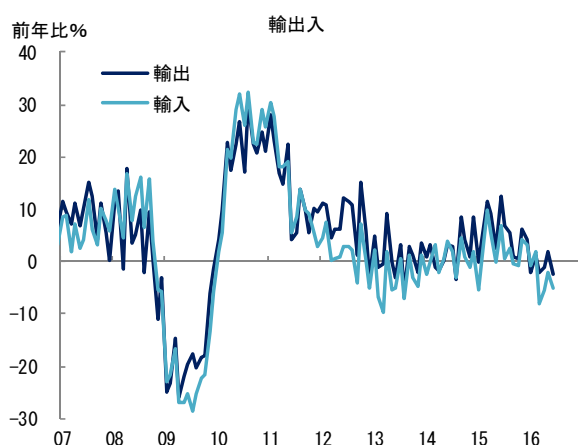
- 7月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.6%に加速
- 生産者物価のうち仕入価格が7月は同+4.3%、販売価格は同+0.3%とそろってマイナス圏を脱した。ポンド安による輸入物価上昇の影響が大きいと判断される
- 英国のEU離脱決定後、一段とポンド安が進んでおり、7月のポンドの実効為替レートは13年3月以来の低水準



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

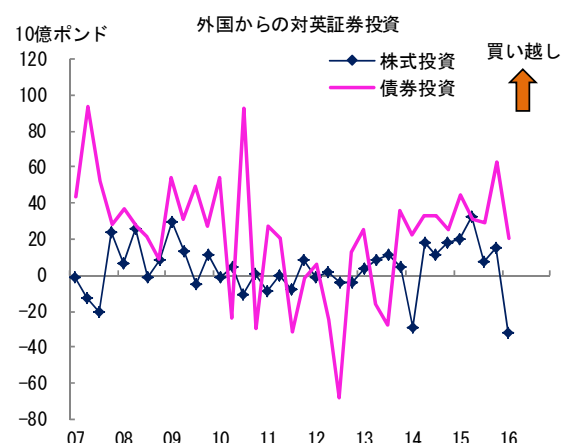
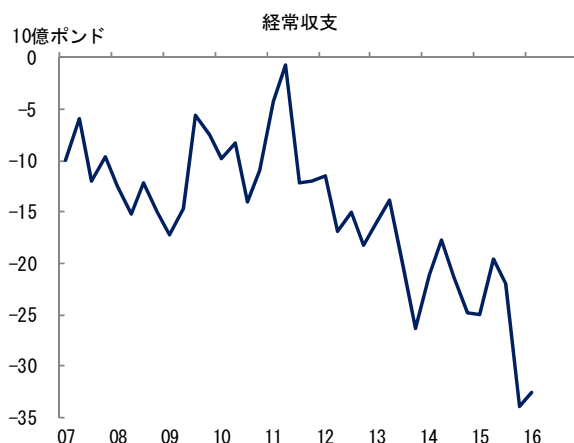
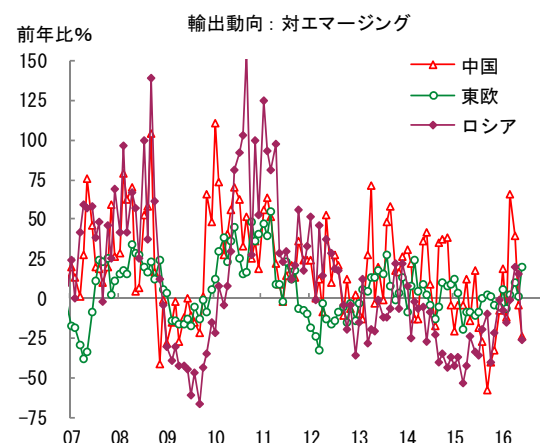
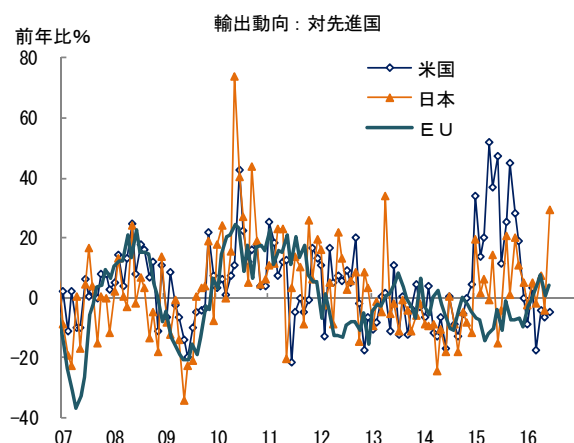
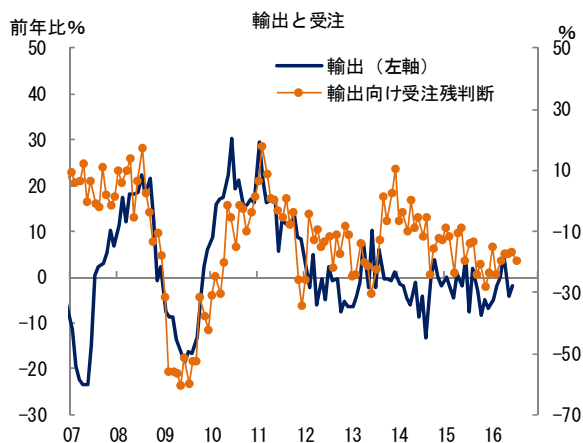
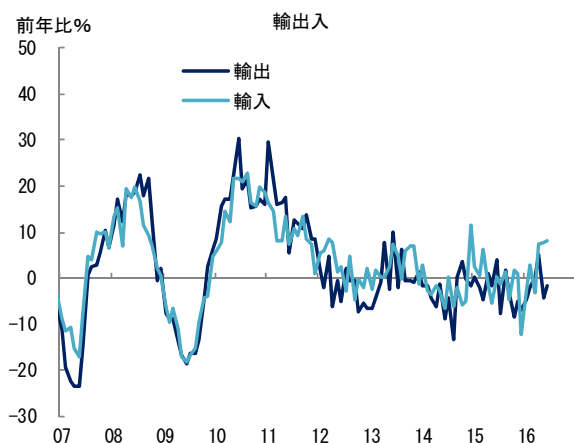
- 6月の輸出は前年比-2.2%と縮小に転じたが、輸入が同-5.0%とさらに落ち込んだため、貿易収支黒字は拡大
- 6月の輸出を相手先別に見ると、中国向けは前年比+6.4%と加速したのだが、米国向けが同-1.7%、ロシア向けが同-5.4%と落ち込んでしまった
- 6月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、株式投資は5カ月連続の買い越しとなった一方、債券投資は改めて売り越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 6月の輸出は前年比-1.7%と前年割れが続いた一方、輸入は同+8.2%と高い伸びとなり、貿易収支赤字が一段と拡大
- 6月の輸出を相手先別に見ると、4割強を占めるEU向けは前年比+4.2%と4カ月連続で拡大したが、逆に米国向けは同-4.7%、中国向けは同-23.7%と前年割れ
- EU離脱決定後のポンド安が、今後輸出の持ち直しに貢献するか注目される



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成